



地域を育み、
大陸をつなぐ

Weekly



・会長 山田 直樹 ・例会日 毎週金曜日 12:30
 ・幹事 唐井 仁一 ・例会場 〒488-0801
 ・会報 井田 武憲 尾張旭市東大道町原田 2570-3
 ・事務所 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : owariasahi@mte.biglobe.ne.jp
 URL : http://www5b.biglobe.ne.jp/~owariasahi/

本日 第1945回 2010年12月3日(金) No.1837

本日のプログラム Today's Program

年次総会

点 鐘

卓話者:箕輪実行副委員長(事業)・福岡君

丹羽実行副委員長(式典・交流親睦)・古橋君・清久君

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

演 題:「40周年記念式典について」

前回 第1944回 2010年11月28日(日) 記 録

「健康づくり」について考えよう!

於名古屋産業大学 文化センター

齊 唄:「奉仕の理想」

来訪者:瀬戸RC 加藤五津美君 14名

出席者:会員28名中21名 出席率75.00%

前々回補正出席率は11月12日100%

年次総会を行います。次年度の組織の骨格が決まります。どうぞお力をお貸しいただいて更なる飛躍に結びつけていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。以上で挨拶を終わります。

会長あいさつ

山田 直樹

11月28日の振替例会で行いました講演会に多数ご参加いただきましてありがとうございました。当日は天気にも恵まれ、ほぼ満席の入場者で講演が開催できましたことを、大変うれしく思います。伊那食品工業(株)会長塚越寛さん(伊那RC)のお話は大変好評を博しました。お帰りの折の観客のみなさんの反応が全てそのことを物語っていました。経営者としての考え方にも共感を覚えることが多々ありました。社員を思いやる心が、事業を着実に前進させてきたことを理解できました。この方をロータリアンの友として、お付き合いできることの幸せを改めて感じた次第です。

健康都市宣言をした尾張旭市の行政としての取り組み方についても市民の皆さんは理解できたのではないのでしょうか。またメンバーの勝屋弘忠君率いる尾張旭労災病院についても、市民の皆さんにより正しく理解していただけたのではないかと思います。

パネルディスカッションについては、コーディネーターの私の進行のまずさで今一つ物足りなかったと反省しております。ともあれ1回で終わるのではなく、次回に続けていける下地はできたのではないかと思います。改めて感謝申し上げます。さて今日は

幹事報告

- ・11/19 尾張旭青年会議所メンバーと懇親会 於しんきち JIC伊藤理事長以下6名、尾張旭RC山田会長以下5名出席。
- ・11/20 第2760地区 地区大会 於ウェスティンコヤキャスル 山田会長以下3名出席。
- ・11/21 第2760地区 地区大会 於ウェスティンコヤキャスル 山田会長以下12名出席。
- ・11/24 地区Q-列-未来委員会 於ガバナ-事務所分室 大野Q-列-未来委員出席。
- ・11/26 地区Q-列-財団未来の夢計画に関する説明会 於名古屋東急ビル 山田会長、森副幹事、唐井幹事出席。
- ・11/26 11RC 会長幹事会 於名古屋東急ビル 山田会長、唐井幹事出席。
- ・11/26 地区会員増強委員会 於ガバナ-事務所分室 加藤清久君出席。
- ・次回の会合:第9回理事役員会
- ・例会変更のお知らせ:別紙。

ニコボックス

「健康づくり」について考えよう! に出席できて。 本日出席者全員

家族月間

	12月10日(金)	12月17日(金)	12月24日(金)	12月31日(金)
例会予定	卓話者:森 和実君、松原 樹君、伊豆原浩二 演題:「地区大会参加報告」	卓話者:古橋 裕志君 演 題:「美しい小さな郵(有)価証券」	移動例会 創立40周年記念行事 「健康都市宣言」塔 除幕式 於名鉄瀬戸線尾張旭駅前	定款第6条第一節により 休 会

創立40周年記念事業 「健康づくり」について考えよう！

日時 平成22年11月28日(日) 13:00~
場所 名古屋産業大学 文化ホール



第一部

「企業の健康づくりについて」

伊那食品工業(株) 会長 塚越 寛氏



塚越氏は昭和12年長野県駒ヶ根市生まれ、伊那北高校を病気療養のため中退。昭和33年伊那食品工業会社に入社、38年同社専務取締役、58年同社代表取締役社長。平成17年3月代表取締役会長、受賞暦多数。講演内容は同社にかかわるいろいろな立場、考え方、経営者としての理念を具体的に明示され観客に多大な感銘を与えられ、たくみな話術に会場から感嘆の声が上がった。

第二部

「WHO健康都市」への取り組みと成果について、尾張旭市健康都市推進室

尾張旭市「WHO健康都市」づくりの概念および事例紹介があり、ワッハッハ体操の実演にて、会場が一体となり和やかな雰囲気になりました。

第三部

パネルディスカッション、地域住民の「健康づくり」について考えよう

まず、山田会長より、ロータリーの取り組みについての説明があり以下5名のパネラーによる問題提起がなされた。



・飯田幸雄君より、地区医師会の取り組みとロータリー活動および今後の「かかりつけ医」について、今までの経過と方向づけの説明があった。

・勝屋弘忠君より旭労災病院の役割と、今後の目指す病院の方向性について。労災の利用状況や呼称等現実味のある内容だった。

また、病院の内部事情等、我々、地域住民の見込み違いも発表された。



・箕輪良孝君より「こころの健康づくり」について、生きがいづくりと宗教のもつ意義について。宗教的立場からの提起に興味があった。他宗教との違いが出され興味の内容だった。



・尾張旭市役所 健康課長 吉田 和仁氏より行政としての取り組みについて。

健康受診率向上への対応、地域医療環境のアピール等行政の立場としての説明があった。



・塚越 寛氏より「企業と地域とについて」健康づくりへの想い。前話に続き、より踏み込んだ内容によって盛り上がった。



・山田会長より、質疑応答に入り、課題、問題提起がなされ、和気あいあいの中にも充実した話し合いだった。最後に閉会の言葉が西尾会長エレクトからあり16時30分に幕を閉じた。

